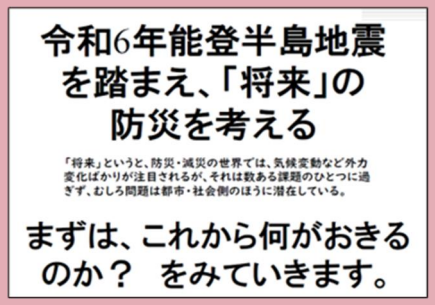
かんざい通信
Vol.5

災害に関する講演会
～「これからの都市防災」～

財務省 関東財務局

概要

○開催経緯
　災害に関する当局と地方公共団体の連携として、
・災害発生時、**当局職員の団体派遣、災害復旧事務の支援**
・応急的な住まいとして**国家公務員宿舎を無償貸与**
・ガレキ置き場等として**国有地の無償提供**
・さらに、上記の支援を円滑に行うため、管内地方公共団体との間で**「災害時の支援等に関する協定」を締結し、日頃より連携**。
　近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、南海トラフ地震等の**大規模地震の発生も懸念**される。
　このような状況を踏まえ、当局では、地域連携中期計画において、「災害対応」を重点的な取組の一つとして位置付けている。
　本取組は、その一環として、当局の強みである多方面との繋がりを生かすことで、災害対応に関する地域との連携強化を図るための講演会を企画・開催したもの。



▲講演資料抜粋

実施内容

～令和7年3月14日に実施しました！～

○テーマ
　災害に関する講演会「これからの都市防災」
　～少子高齢化が進む市街地で行政は何ができるのか～

○実施内容
　開催形式　関東財務局よりWEB配信
　参加団体　管内地方公共団体（21団体）等の防災担当部署

○講演内容
　＜東京大学　廣井教授＞
・フューチャーデザインを取り入れた防災対応
・少子高齢化が急激に進む社会で優先順位を絞り込んだメリハリのある災害対策
・防災から考えるまちづくり　など
　➡地方公共団体が行う防災業務において広く参考となる内容

　＜関東財務局＞
・「災害時の支援等に関する協定」の概要を説明
・令和6年能登半島地震を例に災害時の連携（災害時の職員派遣等）を改めて周知